

入間市

東町中学校 東町小学校

目指す児童生徒像

○自立できる児童生徒

- ・意欲的に学習に取り組み、基礎的・基本的な内容を確実に身につけている児童生徒
- ・自ら行動し、時を守る高い意識を持って生活・学習できる児童生徒
- ・調和のとれた体力と目的に適した運動能力を身につける児童生徒

重点目標

- | | | |
|---|---|---|
| ① 3つの達成目標「計算」において、全学年95%以上を達成する。
小・中学校の全国学力・学習状況調査において、算数と理科を県平均以上にする。 | ② 3つの達成目標の「時間を守る」項目において、全学年100%を達成する。
3つの達成目標の「あいさつ」「返事」において、全学年100%を達成する。 | ③ 新体力テストの「握力」「ボール投げ」において、県平均以上にする。
家庭や地域とのかかわりを深めて、保護者や地域から信頼される学校となる。 |
|---|---|---|

平成25年度 事業計画

	重点目標との関連	主な取組	主な工夫・手立て
必須メニュー	「埼玉県小・中学校学習状況調査」結果や「教育に関する3つの達成目標」の検証結果の分析・活用	・小テスト等の活用 ・5分前行動	・小テスト等の活用を工夫して、基礎・基本の徹底を図る。 ・発達の段階に応じた5分前行動により時間を守る行動の改善を図る。
	9年間を見通したカリキュラムの編成	【編成する教科等】 ・算数・数学	・作成した系統表及び指導をつなぐ手立てを検証する。 ・小学校での既習事項を生かした中学校における指導を実施する。
	児童生徒の交流(合同行事、合同授業等)	・あいさつ運動 ・合同一斉下校 ・体育科合同授業	・児童生徒のリーダー性やあいさつや返事などコミュニケーション能力の育成を図るよう交流の場を工夫する。 ・中学校保健体育科の教員による専門性ある指導とともに、中学生が小学生の模範となる授業を展開する。
	教職員の交流(合同研修、乗り入れ授業等)	・小・中合同研修会(3回) ・小・中教員交流授業(小中連携重点週間)	・合同研修会の実施内容は、「発達障害のある児童生徒との関わりについて共通理解を深める研修」「小中一貫に係る授業の研修」「学級アセスメントに関する研修」等を予定。 ・小中連携重点週間を6月、11月、2月に設定し、実施可能な教科での交流授業を行う。
	小学校高学年の一部教科担任制	① (東町小 週21時間) ・4・5・6年算数 ・6年理科	【期待できる効果】 ・担任と専科教員とのチームティーチングにより、より専門性の高いきめ細やかな指導ができる。また、算数・数学のカリキュラムの編成を行う上で、実態把握や検証の場としての意味がある。
選択メニュー	小・中学校教員のチームティーチング	①②③ ・中1数学 年18時間 東町小→東町中 ・小6体育 年12時間 東町中→東町小 ・小6外国語活動 年12時間 東町中→東町小	・定期的な実施は難しいところがあるので、期間を決めて実施する。(当初の計画になくても、実施可能なところがあれば実施するという共通理解が小・中の間にある。)
	PTA等交流・共同活動	①②③ ・小・中の学校(読み聞かせ)ボランティアの交流 ・地域の祭り(万燈まつり) 小・中教員、児童生徒、小・中PTA、地域の方が連携	

『中学校への授業サポート・小学校への乗り入れ授業』

1 視点・キーワード

- (1) 全教職員の共通理解に基づく組織的な取組を推進する
- (2) 小・中学校が隣接しているという本中学校区の利点を活かす

2 概要（組織との関連、手順等）

本中学校区は小・中学校が隣接しているという利点を活かして、次の手順で研究を進めた。

- (1) 研究推進委員会において研究主題「学校教育目標の具現化」を設定した。
- (2) 目指す児童生徒像を設定し、小・中学校の全教職員で共通理解を図った。
- (3) 研究のポイントとなる「小中9年間の学びや育ちのつながりを重視した教育の実践」について各ブロック（「知」・「徳」・「体」）で協議し、研究計画を立案した。
- (4) 「知」ブロックが計画した「中学校への授業サポート・小学校への乗り入れ授業」の小中連携重点週間について、小中一貫教育コーディネーター（教務主任）が日程等の連絡調整を行った。
- (5) 小中連携重点週間では次のような実践を行った。
 - 小学校教員による中学校への授業サポート
・第1・2学年の数学、第1学年の音楽・保健体育で既習事項の学習・確認等の場面で実施。
 - 中学校教員による小学校への乗り入れ授業
・第5・6学年を中心に算数、社会、英語活動、道徳等で実施した。

3 評価

- (1) 中学校入学に不安がある児童が減少している。
- (2) 中学校1年生の不登校数が減少している。
- (3) 諸調査結果で、学力・体力の向上が見られる。

4 主な課題と留意点

- (1) 継続した教育課程の編成・実施・改善を行う。
- (2) 汎用性の高い活動の精選と発信を行う。
- (3) 地域・学校応援団等との関わりを深めていく。



小・中教員によるチーム
ティーチング（外国語活動）



小・中教員によるチーム
ティーチング（小・中合同体育）



小学校教員による中学校への
授業サポート（中学校数学）



小・中合同の花植え